



JR-West's Business Report
— 株主の皆様へ —

第35期 中間事業報告
2021年4月1日 ≫ 2021年9月30日

ご挨拶

平素は、JR西日本グループの事業運営にご理解を賜り、厚く御礼申しあげます。

当社グループは、2005年4月25日に福知山線列車事故を惹き起こした責任を重く受け止め、基幹事業である鉄道の安全を最重要課題とし、「JR西日本グループ中期経営計画2022」（「中計2022」）とその中核をなす「JR西日本グループ鉄道安全考動計画2022」に掲げる各施策を着実に推進してまいりました。

当社グループを取り巻く経営環境は、新型コロナウイルス感染症の拡大と影響の長期化により、かつてない厳しい局面に直面しています。しかしながら、このような状況の中にあっても、社会インフラ企業グループとして、基幹事業である鉄道の安全を確保し、地域のお客様の便利で快適な暮らしと、社会、経済の発展を支え続けていくという、当社グループが担う使命に変わりはありません。今後も「お客様から安心・信頼していただける鉄道」を築き上げてまいります。

そして、従来の水準と比べ、恒常的にご利用が少ない状況においても、お客様から安心、信頼していただける安全を実現し、満足いただける価値を提供し続けられるよう、とりわけ鉄道のコスト構造を改革してまいります。また、デジタル化による業務変革などを通じて変化への対応力を高め、イノベーションにも挑戦しながら、事業運営やサービス提供のあり方を社会のニーズに適応させていくことで、価値を創出してまいります。

さらに、当社グループがこれまで描いてきた地域共生によるまちづくりや観光需要創出などの成長戦略を速やかに推進し、変化する経営環境への対応力を高めていくために財務体質の改善を図ることが必要と考え、9月に新株式発行による資本調達を行いました。この調達資本を活用し、コロナ収束後の成長を通じた企業価値、株主価値向上の実現を目指してまいります。

株主の皆様への還元につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により当中間期も引き続き赤字決算となったものの、長期安定的な株主還元を重視する方針も踏まえ、当期の中間配当を1株当たり50円とさせていただきます。また、年間配当については、中間配当を含め、1株当たり100円とする予定です。

株主の皆様におかれましては、当社グループの置かれた状況をご理解いただきますとともに、引き続きご支援賜りますよう、お願い申し上げます。



2021年12月

代表取締役社長

長谷川 一明

事業全般の状況

業績の POINT

当中間期においては、緊急事態宣言の延長等、新型コロナウイルス感染症の影響の長期化により、当社グループの事業についても、観光のご利用減、出張の抑制等の出控えや消費の減退等、引き続き非常に厳しい状況に置かれました。

新型コロナウイルス感染症の影響の反動等により、営業収益は前年同期比8.6%増の4,368億円となったものの、営業損失は861億円、経常損失は874億円、法人税等を控除した親会社株主に帰属する四半期純損失は686億円となりました。

当社グループは、このような極めて厳しい状況の中、鉄道の安全確保及びお客様、社員の新型コロナウイルス感染防止対策の着実な実施をはじめ、リスク管理体制の整備・運用に継続して努めつつ、不急の施策の見送りや先送りによるコスト節減を実施しています。その結果、営業損失は前年同期比586億円、経常損失は同668億円、親会社株主に帰属する四半期純損失は同594億円、それぞれ改善しています。

今後も、お客様に安全に、安心してご利用いただくための取り組みをグループ全体で推進するとともに、行動制限緩和の機会や新たなお客様ニーズを捉えた価値の提供等による需要創出を図っていきます。

営業収益

4,368 億円

前年同期比 **8.6%増**

営業損失

861 億円

前年同期 **1,447** 億円

経常損失

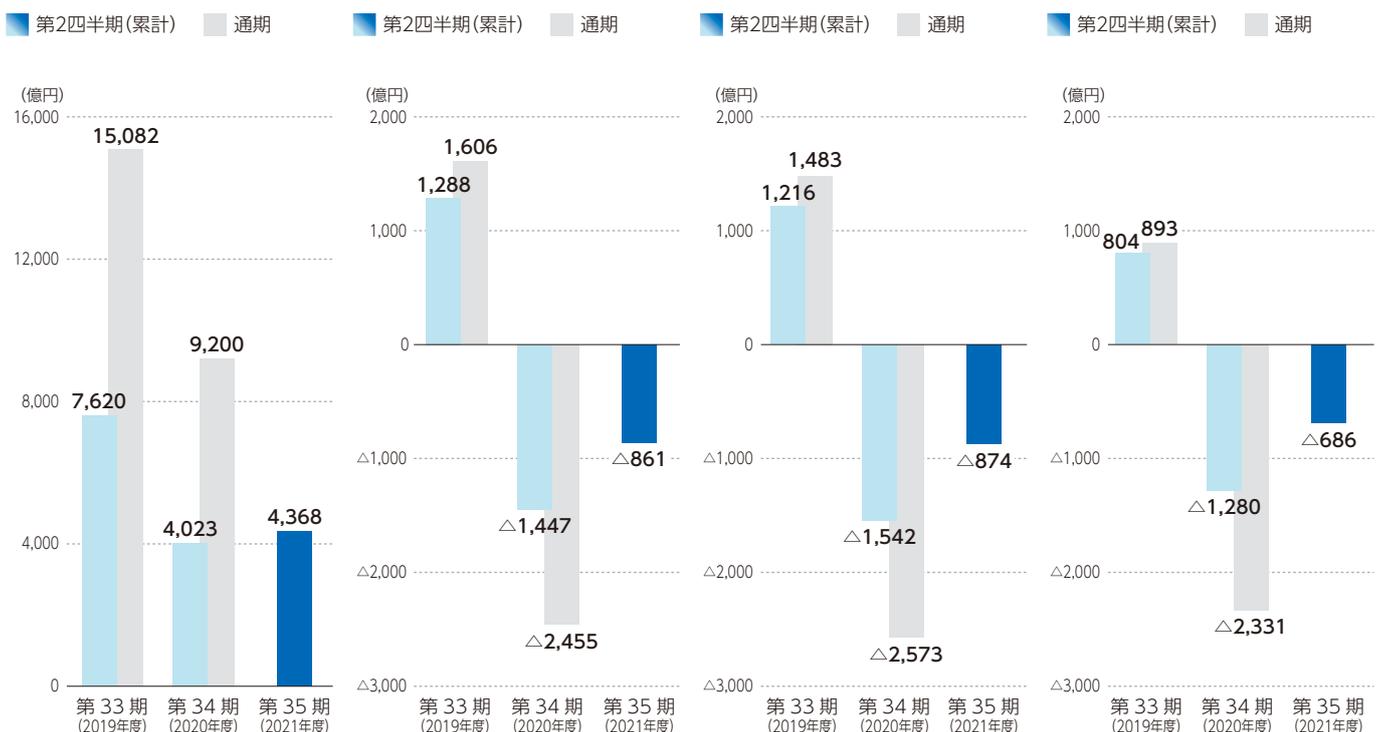
874 億円

前年同期 **1,542** 億円

親会社株主に帰属する 四半期(当期)純損失

686 億円

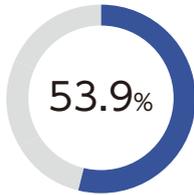
前年同期 **1,280** 億円



セグメント別の状況

運輸業

セグメント別構成比



営業収益 **2,356** 億円 営業損失 **899** 億円

運輸業セグメントでは、新型コロナウイルス感染症の影響の反動によりご利用が増加したことから、営業収益は前年同期比13.3%増の2,356億円となったものの、営業損失は899億円となりました。

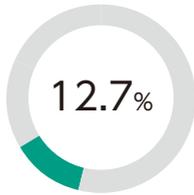
今後も、不急の施策の見送りや先送りによるコスト節減を引き続き実施しつつ、行動制限緩和の機会や新たなお客様ニーズを捉えた価値の提供等による需要創出を図ることで、運輸収入の早期回復を目指していきます。



新快速 (225系)

流通業

セグメント別構成比



営業収益 **555** 億円 営業損失 **69** 億円

流通業セグメントでは、新型コロナウイルス感染症の影響の反動によりご利用が増加したことに加え、流通業セグメントに区分される宿泊特化型ホテル「ヴィアイン」が団体客のご利用を獲得したこと等により、営業収益は前年同期比17.4%増の555億円となったものの、営業損失は69億円となりました。

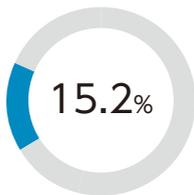
今後も、コスト節減を引き続き実施しつつ、消費回復を確実に取り込み、収益向上を図っていきます。



ヴィアイン日本橋人形町

不動産業

セグメント別構成比



営業収益 **662** 億円 営業利益 **161** 億円

不動産業セグメントでは、不動産販売・賃貸業において昨年度開業した賃貸物件が平年度化したことに加え、ショッピングセンター業において新型コロナウイルス感染症の影響の反動によりご利用が増加したことから、営業収益は前年同期比3.7%増の662億円、営業利益は同7.0%増の161億円となりました。



夙川グリーンプレイス
(2021年9月開業)

その他

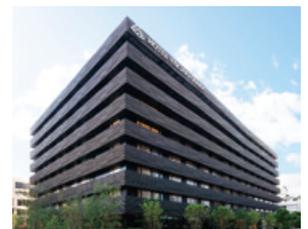
セグメント別構成比



営業収益 **794** 億円 営業損失 **61** 億円

その他セグメントでは、ホテル業において新型コロナウイルス感染症の影響の反動によりご利用が増加したものの、旅行業等において低調な状況が続き、営業収益は前年同期比4.6%減の794億円、営業損失は61億円となりました。

今後も、コスト節減を引き続き実施しつつ、行動制限緩和の機会を捉えた旅行需要の取り込み、新たなお客様ニーズを捉えたプランの提供等により、収益向上を図っていきます。



ホテルヴィスキオ大阪

公募増資の目的と概要

ワクチン接種率の向上、行動制限の緩和等により、今後、鉄道をはじめとした当社グループの事業のご利用は回復する見込みですが、コロナ前の水準までは戻らないことが想定されます。そのような状況下でも利益を生み出すことができるよう、とりわけ運輸業における固定費の削減等、コスト構造改革を進めています。そのうえで、ニューノーマルにおけるレジャー需要、当社エリアでの大規模イベントや開発プロジェクトに起因する需要を着実に取り込むべく、公募増資によりバランスシートを強化し、成長投資を継続できる体力を確保することとしました。

ニューノーマルにおける
レジャー需要を中心とした需要回復

大規模開発プロジェクト等の
新たな需要創出イベント

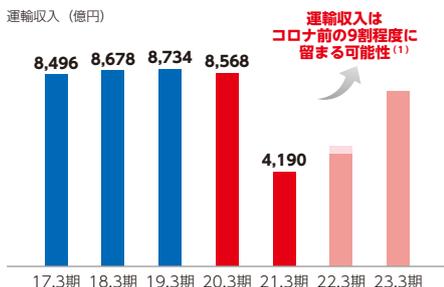
本調達により、バランスシートを強化し、成長に向けた体力を確保
今後の需要回復に加えて、新たな需要創出イベントに資金面で対応し、
コロナ収束後の成長を通じた株主価値向上の実現を目指す

コロナ収束後の成長を通じ、株主価値の向上、長期安定的な株主還元の実現を目指していきます。

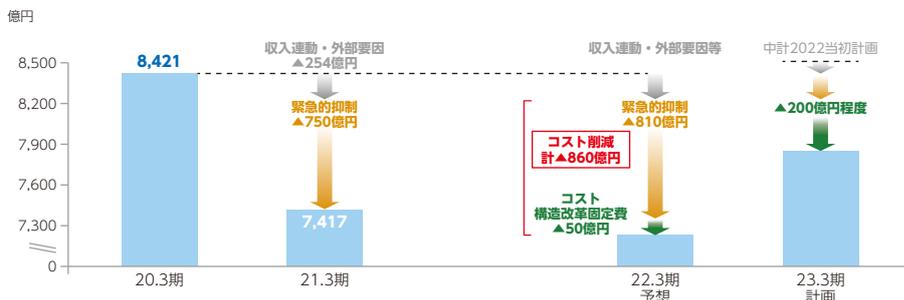
ニューノーマルに向けたコスト構造改革

運輸収入がコロナ前の水準に戻らなくとも利益を出せるように、コスト構造改革を実行し、大幅な固定費の削減を推進します。

運輸収入の見通し



営業費用 (単体) の見通し



緊急的抑制

- 一時帰休の実施
- 一部社員のグループ外企業への出向
- 超過勤務の削減
- 広告宣伝費の削減
- 賞与の削減

コスト構造改革

- ✓ 固定費削減
 - 高齢社員の自然減による人件費低下
 - 管理部門の社員数削減
 - 「みどりの窓口」設置駅数の削減
 - 駅無人化の推進/非対面サービスの向上
- ✓ 固定費の変動費化
 - CBM⁽²⁾を軸としたメンテナンス手法の改革
 - ダイヤ改正
 - ご利用状況に応じた柔軟なダイヤ設定

注: (1) 現時点における当社の想定であり、9割に満たない可能性も存在

(2) Condition Based Maintenance

※21.3期の運輸収入の実績は、「収益認識に関する会計基準」を遡って適用した後の数値となっております。

豊富な観光資源と大規模イベントを活かした需要創出

当社営業エリアには世界遺産や大型レジャー施設等、魅力的な観光資源が数多く存在しています。また、今後数多くの集客が見込めるイベントも複数開催予定であり、一層の旅客移動が見込めます。

2022年5月

ワールドマスターズ
ゲームズ関西⁽¹⁾

参加者数見込み: 5万人
経済効果見込み: 約1,500億円

2025年

大阪・関西万博⁽²⁾

来場者数見込み: 2,820万人
経済効果見込み: 約2兆円

2020年代後半

大阪IR部分開業目標⁽³⁾

年間来場者数見込み
: 1,500万人



出所: (1) 「ワールドマスターズゲームズ2021関西」公式サイト、日本経済新聞

(2) 日本国際博覧会基本計画

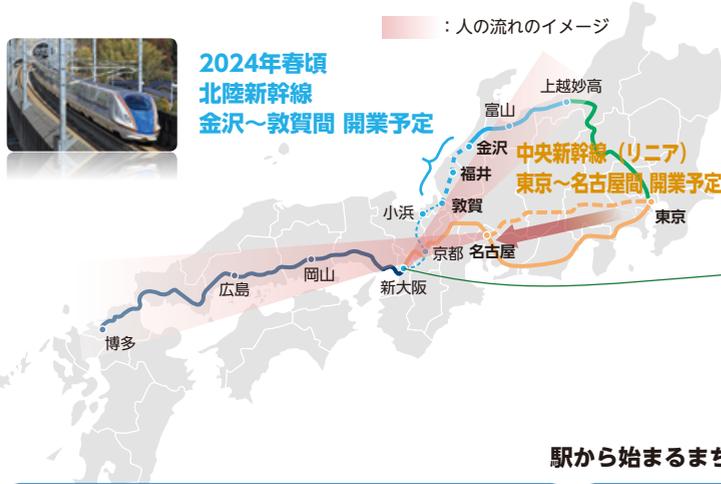
(3) 大阪IR基本構想

※上記はいずれも予定であり、変更の可能性があります。

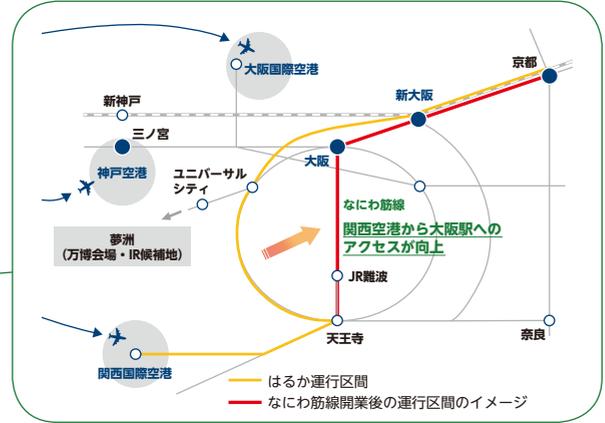
地域と共に取り組む需要創出施策

相次ぐまちづくりプロジェクトの推進を通して人の流れを創出、鉄道ネットワークにおける需要を拡大し、グループ全体での成長を目指します。

北陸新幹線の開業／延伸効果を最大限に活かし 都市間の交流を拡大することでまちの賑わいを創出



なにわ筋線開業をはじめとする関西都市圏ブランドの 確立に貢献する鉄道ネットワークの構築



駅から始まるまちづくり

大阪駅周辺再開発

【新駅ビル開発】
開業：2024年秋
延床：約60,000㎡
規模：地上23階、地下1階
用途：オフィス、商業等

【大阪駅西地区ビル開発】
開業：2024年3月竣工予定
延床：約227,000㎡
規模：地上39階、地下3階
用途：オフィス、商業、ホテル、劇場等
注：日本郵便・JTとの共同事業

【高架下開発】
開業：2024年秋以降順次～2027年春
延床：約7,000㎡
用途：商業、バスターミナル等

広島駅ビル開発

開業：2025年春
規模：地上20階、地下1階、
高さ約100m
用途：ショッピングセンター、シネマ
コンプレックス、ハイクラス宿泊
主体型ホテル「ヴィスキオ」等

せとうちパレットプロジェクト

- 当社と地域一体のコンテンツ整備・プロモーション展開による広域観光エリアの磨き上げ
- 地方中核都市を中心としたまちづくりにより、交流・関係人口を拡大

せとうちグランピング SEA SPICA エトセトラ

※上記はいずれも予定であり、変更の可能性があります。

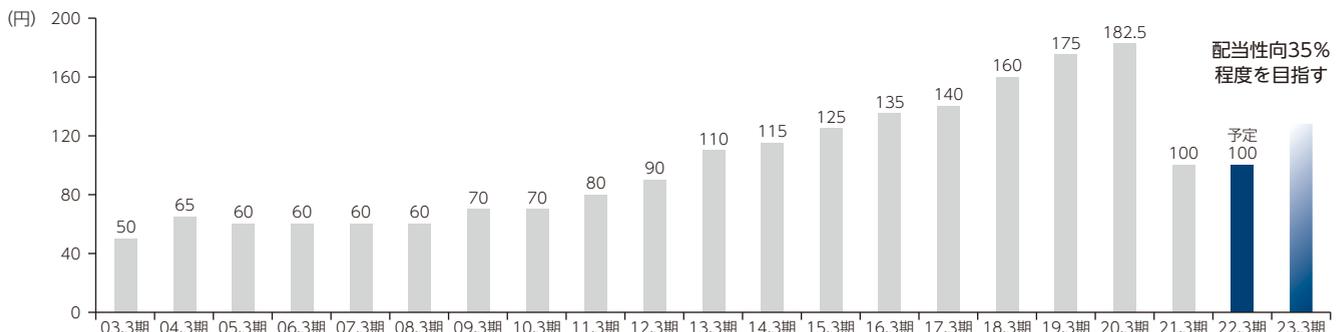
強固な財務体質の維持と株主還元

本調達によりバランスシートを強化し、D/Eレシオ1倍程度への回復を目指します。また、長期安定的な株主還元の実現を目指していきます。

D/Eレシオの推移／目標



1株当たり配当金の推移／予想



配当金のお受け取りは、便利な口座振込をご活用ください!

配当金領収証を郵便局等にご持参いただき現金を受け取る方法以外にも、銀行等や証券会社の口座への振込により、迅速かつ安全・確実に配当金をお受け取りいただけます。次回以降、配当金のお受け取りは、受け取り忘れの恐れがない便利な口座振込をぜひご利用ください。

なお、お受け取り方法の変更をご希望される場合は、**口座を開設されている証券会社等**にお問合わせください。

!

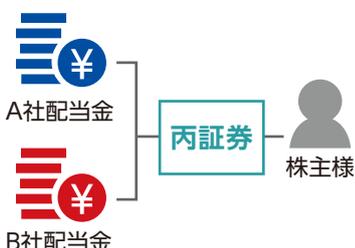
ご注意

お支払開始日から満3年を経過した配当金は、お受け取りができなくなりますので、お受け取り漏れの無い口座振込をぜひご利用ください。

口座振込には下記の3つの方法をお選びいただけます。

株式数比例配分方式

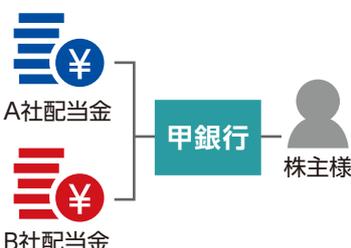
ご所有のすべての株式等の配当金を**証券会社の口座**で受領



少額投資非課税口座(NISA口座)にて、配当金の非課税適用を受けるには本方式をお選びいただく必要があります。

登録配当金受領口座方式

ご所有のすべての株式等の配当金を**ご指定の一つの銀行等の預金口座**で受領



振込先口座に「ゆうちょ銀行」の口座をご指定いただくことはできません。

個別銘柄指定方式

ご所有の**銘柄ごとに指定した銀行等の預金口座**で受領



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	毎年3月31日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
株主確定日	期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日
公告方法	電子公告 ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載する方法により行います。
(ホームページURL)	https://www.westjr.co.jp/company/ir/koukoku/
株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関	三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎ 0120-782-031 受付時間9:00~17:00(土日休日を除く)
(ホームページURL)	https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/

株式に関する住所変更等のご照会及びお届出について

株式に関するお手続(届出住所、姓名等の変更、配当金の振込方法、振込先の変更、単元未満株式の買取・売渡請求等)のご照会及びお届出につきましては、証券会社での口座開設の有無に応じて、以下のいずれかの窓口にご連絡ください。
 〈証券会社で口座開設されている株主様〉
 当該証券会社にご連絡ください。
 〈証券会社で口座を開設されていない株主様〉
 三井住友信託銀行にご連絡ください。(下記もご参照ください。)

特別口座について

株券電子化の施行日(2009年1月5日)前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)をご利用されていなかった株主様のご所有株式は、三井住友信託銀行に開設された口座(特別口座)に記録されております。特別口座の詳細につきましては、左記の三井住友信託銀行の電話照会先にお問合わせください。

マイナンバー制度のご案内について

株式の税務関係の手続き(税務署への配当金に関する支払調書の提出など)において、株主様のマイナンバーが必要となりますので、口座のある証券会社にお届出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設された株主様は、左記の三井住友信託銀行の電話照会先にお問合わせください。



※この冊子は環境にやさしい植物油インキを使用しています。



ユニバーサルデザイン(UD)の考えに基づいた見やすいデザインの文字を採用しています。